2025年　入社式　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のために、このような素晴らしい入社式を催していただき、新入社員を代表して心より御礼申し上げます。石山社長よりいただいた温かく力強い激励のお言葉を胸に刻み、東北・新潟地域に「より、そい」ながら、お客さまの暮らしを支える使命を自覚し、これからの業務に励んで参りたいと決意を新たにしております。

現在、電力業界は燃料価格の高騰や電力自由化の進展、さらには脱炭素化の推進など、かつてない変革の時代を迎えています。加えて、東北電力グループの事業基盤である東北・新潟では、昨年の能登半島地震や今冬の青森県の豪雪といった自然災害に加え、人口減少やエネルギーの分散化といった社会課題にも直面しています。

このような課題に直面する中で、先輩社員の皆様が築いてきた地域とのつながりをさらに強化し、積極的に課題に取り組んでいくことが重要だと感じています。私たちも東北・新潟を先駆けとする持続可能な社会の実現に向け、どのような課題にも果敢に挑戦し続け、地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。

就職活動中にお会いした先輩社員の方が、「如何なる状況でも電気を届ける」という強い覚悟を持ち続けて業務にあたっているとお話しされ、その言葉が今も深く心に残っています。これまで、東日本大震災や雪害を経験した際、社員の皆様が迅速に電力の復旧を行い、地域から深い信頼を得る姿を、報道を通じて目にする機会がありました。

また、昨年末、東日本大震災以降停止していた女川原子力発電所2号機が14年ぶりに営業運転を再開し、再出発を果たしました。震災後初めての沸騰水型の営業運転再開を被災地である女川で果たしたことは、社員や関係者の方々の、震災の経験と教訓を踏まえた数々の安全性向上の取り組みの結晶であるとともに、「より，そう，ちから」の大きな象徴になったと思います。どのような困難にも立ち向かい、誇りを持って地域に尽力する意志が社員一人ひとりに根付いているからこそ、地域の皆様が信頼を寄せてくださるのだと感じています。

私たち新入社員は、それぞれ異なる経験や強みを持ちながらも、共通して東北・新潟地域の未来を支えたいという強い意志を胸に入社式に臨んでいます。今はまだ知識や経験が浅い私たちですが、この熱意を持ち続け、先輩方が築き上げてきた地域との絆をさらに深めるべく努力を重ねてまいります。これから全力で業務に取り組み、成長していく所存ですので、先輩社員の皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、私たち新入社員一同、今日の決意を胸に誠心誠意業務に取り組み、周囲の皆様への感謝の気持ちを忘れず、職務に邁進してまいります。地域社会と東北電力グループの発展に貢献できるよう、惜しみない努力を重ねることをお誓いし、新入社員代表の挨拶とさせていただきます。

2025年4月1日　新入社員代表　石川愛佳